

知識は 旅をする



館内のご案内(9) 交流ラウンジ

就労支援コーナーがあり、また、県内外の催し物のチラシ等もご覧いただけます。

千葉県立東部図書館だより
2015年11月

第54号



■トピックス

▼名作映画鑑賞会のご案内

奇数月の第3土曜日に開催しています。
開場 13:15 上映 13:30
場所 3階研修室

- 1 1月21日 (土) 「沈黙の春を生きて」
- 1 1月16日 (土) 「野ばら」
- 1 3月19日 (土) 「アパッチ砦」

▼年末年始休館のお知らせ

12月28日(月)から1月4日(月)まで、休館します。

なお、休館中でも資料の返却ができますので、東部図書館正面、入口左側にありますブックポストをご利用ください。

▼図書館ナビ・データベース講座

- 1 1月22日 (日) 「伝統芸能を楽しもう」
- 1 2月27日 (日) 「世の中のニュースを調べよう」
- 1 1月24日 (日) 「ビジネス情報を調べよう」

ご希望の方は、カウンター・電話にてお問い合わせください。

▼資料展示コーナー

「江戸時代にタイムスリップ」

展示期間

平成27年10月17日～
平成27年12月17日

ホームページURL <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>
携帯電話サイトURL <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>

携帯電話機のQRコードリーダーでアクセスできます→



レンズが撮らえたF・ベアトの幕末

F.ベアト／撮影

山川出版社 2012 [21058/286]

多くの方は江戸時代の様子を日本画や浮世絵、時代劇などで知っていることと思います。本書は写真で江戸時代を知ることができます。江戸後期から明治初期を中心に、絵や芝居と違い、およそ人が見たままの状態を知ることができます。カラー写真の発明はまだまだ後のことですから、白黒写真です。色つきの写真は水彩画の技法で着色したもので、より実際の雰囲気伝えるための意図でしょう。また、カメラはまだ普及していませんから、外国人の撮影によるものです。これらの写真を見て当時の様子を思い浮かべてみてはいかがでしょうか。

(こんな資料もあります)

PHOTOGRAPHY in Japan 1853-1912

テリー・ベネット／著

チャールズ・イー・タル出版

2014 [21058/304] (英語)

江戸猫 浮世絵猫づくし

稲垣 進一・^{いさお} 憲 俊彦／著

東京書籍 2010 [7218/132]

猫が日本に来たのは奈良時代からと言われ、平安時代には貴族のペットとして大切に飼われ始めていました。現代でも多くの愛猫家に可愛がられています。

江戸時代には、猫好きな歌川国芳を筆頭に浮世絵にも猫が描かれています。東海道五十三次の語呂を猫の生体で表したシャレ心あるものから、江戸の商人やそば屋の様子を細かく擬猫化したものまであり、当時の世相も知ることができます。

本書は、わかりやすくユーモラスな解説も添えてあります。猫好きな方もそうでない方も猫の浮世絵を通して江戸の世界を覗いてみてはいかがでしょうか。



「むだ」と「うがち」の江戸絵本

(黄表紙名作選)

小池 正胤・有働 裕／校注・解説

笠間書院 2011 [91357/38]

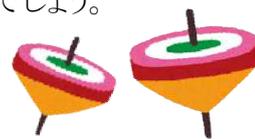
黄表紙とは江戸で出版された絵入り小型本の一種です。黄表紙以外にも赤本・黒本・青本・合巻などがあり、これらを総称して草双紙とも言います。黄表紙は主として江戸の下級武士や町人に読まれていました。

作品の特徴の一つに、パロディのおもしろさが挙げられます。もとの話とのずれが大きければ大きいほどその意外性は笑いとなり、そういう一見「むだ」と思える空想を楽しむことができます。

また、草双紙は鏡餅や門松同様、正月の景物でもありました。そんな江戸時代独自の作品を通して、「笑い」と「おめでたさ」を味わってみるのも良いことでしょう。

図書館ぶらり散歩 (39)

江戸時代に タイムスリップ



江戸の寺社めぐり

原 淳一郎／著

吉川弘文館

2011 [38437/26]



生活に余裕が生まれ、街道の整備が進んだ江戸時代、人々は旅に出るようになりました。“参詣講(さんけいこう)”というグループを作り、集めた資金で代表者が共同祈願へ出発。2、3ヶ月に及ぶ徒歩の旅は命がけでしたが、村の若者を育て、他の土地の情報を獲得する意義もありました。珍しい景色や料理を楽しみ、お土産も忘れずに。寺社や宿場の参拝客獲得競争も盛んで、街道の要所では手荷物配送サービスもありました。

また、文人による風流の旅は多くの紀行文を残し、お武家様の聖地はもちろん鎌倉で、近くの江ノ島も人気の観光スポットだったそうです。

※ [] 内は資料の請求記号です。

～祝 大日本国語辞典 刊行100年～
『大日本国語辞典』を作った男 松井簡治
— 銚子が生んだ国文学者 その生涯 —

6月13日(土)、当館研修室にて文学講座を開催しました。講師に、松井簡治資料刊行会副会長 越川行雄(こしかわゆきお)氏をお迎えし、郷土の偉人松井簡治について熱く語っていただきました。45名の皆様が聴講されました。

下総国海上郡新生村(現、銚子市新生町)の神官、宮内家の次男として生まれた簡治が、どのような経緯で『大日本国語辞典』を刊行するに至ったのか、また、辞書編纂を独力で進めるために、集めた約40万語のうち半数の20万語に絞り、20年間・1日33語という緻密な編纂計画を立て、且つ実行したその人柄や当時の生活、作業の様子など、写真をまじえて丁寧にご説明いただきました。偉業を成し遂げた後もそこで満足せず、より良いものを求め増補巻の刊行を予定するなど、辞書作りに携わり続けた松井簡治。その仕事を家学として引き継いだ子孫についても話は広がりました。更に、若くして上京した簡治でしたが、銚子ゆかりの文化人の会合「銚水会」の発起人に名を連ね、故郷銚子の思い出等を会報や地方紙に寄稿するなど、郷土への思いや関わりは深かったという話もあり、聴講された方々も熱心に耳を傾けていらっしゃいました。「辞書を当たり前に使っていたが何も知らなかった」「先人の努力、根気、忍耐に感動」「簡治の教養の背景が興味深かった」「身近にこんな偉大な人がいたとは」「より周知されるよう広報を試みては」など多数の感想が寄せられました。



～千葉県立中央博物館連携事業～

『妖怪と出会う夏』

— 千葉の妖怪・江戸の妖怪 —

9月5日(土)、当館研修室にて歴史講座を開催しました。千葉県立中央博物館 自然誌・歴史研究部 主席研究員兼歴史学研究科長の内田龍哉(うちだたつや)氏を講師に、妖怪をテーマにご講演いただきました。40名の皆様が聴講されました。

先人が妖怪とどのように向き合ってきたかという出だして、妖怪学の祖と呼ばれ、不可思議な現象を科学的に解明しはっきりさせようとした井上円了、妖怪を畏れる人間の心に目を向けた柳田国男、更に多くの現代の学者たちの名前を挙げ、それぞれの立場や考え方をご説明いただきました。千葉県内・東総近隣の地域にまつわる様々な妖怪画やその由来・背景についての内容では、馴染みのある身近な地名に頷いたり驚いた様子をされたりする聴講者の方々もいらっしゃいました。また、妖怪画の系譜や絵の細部にまで注目して読み解く鑑賞の面白さも教えていただきました。テンポのよい講義に、聴講者の方々から「知識が豊富で、多岐にわたって楽しめた」「多くの画像でイメージ豊かに知ることができた」「詳細な学術調査の成果を知ることができた」「知っている地名が多く出てきて興味深かった」「繋いでいく文化の大切さを感じた」など多くの感想が寄せられ、文学講座に続き、こちらも大変好評でした。

各講座へのご参加ありがとうございました。

今後もさまざまな講座を予定しておりますので、ぜひご参加ください。お待ちしております。

小伝馬町の牢屋敷

【 質問内容 】

安永4年(1775年)の百姓牢建造以前の江戸小伝馬町牢屋敷の見取り図が見たい。

【 調査経過 】

- ①質問者が確認した『古事類苑』と『千葉県の歴史』の牢屋敷図を再度確認します。先に確認しておくことで、同じ史料が出典の同じ図を探索対象から外すことができます。
- ②まずは、『国史大辞典』を索引から引きます。「小伝馬町」の項には、江戸町奉行所の所管であることなどが書かれ、「牢屋」の項には、明治5年の見取り図も載っています。
- ③辞典で分かった関連キーワード「伝馬町」「牢」「罪人」「江戸」「石出帯刀」などを元に、千葉県立図書館 OPAC や国立国会図書館サーチ、CiNii (NII 学術情報ナビゲータ) を検索します。
- ④ ③で見つけた資料に出典の記載があれば、出典となる史料に当たります。また、③の資料と似た資料も本棚から確認します。例えば、同時代や同地域に関する資料の他に NDC[322.15 日本法制史-近世]や[326.5 行刑]など同じテーマの本も探します。史料を収蔵しているような博物館や史料館などの目録も確認します。

今回は、『江戸の刑罰』(石井良助著 中央公論社 1964)「牢屋敷の見取図」p99に「国会図書館にある牢屋図では東牢と西牢とが別棟になっており、百姓牢がない。」との記載がありましたので、国会図書館に問合せを行い、旧幕府引継書なども含め史料・資料を確認して貰いました。

【 調査結果 】

小伝馬町牢屋敷の図を掲載した資料は複数ありましたが、該当年であることを確認できた資料を見つけることはできませんでした。

担当者のコメント 古い事柄を調べる時は、歴史的な資料自体を確認しなければならないこともあります。千葉県立図書館で所蔵していない場合も、所蔵している図書館や機関に調査を依頼することもあります。

■ 県立図書館の資料は、市町村立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設にご相談ください。(一部ご利用いただけない施設もございます。各施設にご確認をお願いいたします。)

■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

江戸から明治・大正・昭和そして平成へと時代は移りましたが、地名や文化などには、まだまだ江戸時代の名残があります。今号では、江戸に関する資料などの紹介もしておりますので、東部図書館の今秋の資料展示「江戸時代にタイムスリップ」と併せて、江戸時代へのタイムトラベルをお楽しみください。

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521 千葉県旭市ハの3 4 9
Tel 0479-62-7070

URL : <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>